

～売り上げの一部を新型コロナウイルス緊急支援へ寄付し医療従事者に感謝の気持ちをお届け～
お花で応援！日比谷花壇の「フレフレフラワー」
7月14日(水)からオンラインショッピングサイトで注文受付開始

株式会社日比谷花壇(本社:東京都港区、代表取締役社長:宮嶋浩彰)は、身近で頑張っている人を応援する気持ちを込めたフラワーギフト「フレフレフラワー」の注文受付を数量限定で、7月14日(水)から日比谷花壇オンラインショッピングサイト(<https://www.hibiyakadan.com/>)で開始します。「フレフレフラワー」は、ドネーション付き商品となっており、売上の一部を、新型コロナウイルス緊急支援事業へ寄付し、医療従事者に感謝を伝えます。「フレフレフラワー特集ページ」(<https://www.hibiyakadan.com/summer/cheering/>) *7月14日(水)公開予定

日比谷花壇では、花で人と人をつなぎ、日本に笑顔の輪を広げたい、という想いから「フレフレフラワー」を商品化しました。身近な人へ「フレ！フレ！」と応援する気持ちを込めた「フレフレフラワー」は、カラフルでやわらかな色合いのママを桜の花びらをイメージしたラッピングで包んだそのまま飾れるブーケと、“勝利”や“幸福”、“平和”を意味するオリーブ(アーティフィシャル)をあしらったいつまでもそばに飾っておけるリースの2種類をご用意し、いつも頑張っている人を花で応援していただきたいと思います。日本中の人々がさまざまな形でこの時代を乗り切ろうとしている中、毎日奮闘している数多くの医療従事者の方がいらっしゃいます。そんな方々に感謝の気持ちを込めて、売上金の5%を認定NPO法人ピースウィンズ・ジャパン(<https://peace-winds.org/support/covid-19>)の新型コロナウイルス緊急支援事業(医療・福祉施設などへの物資支援、病院などでの医療支援)へ寄付します。また、7月14日(水)～19日(月)まで「フレフレフラワー」の発売を記念してTwitterでプレゼントキャンペーンを実施します。(詳細は別紙を参照) あなたの「応援」から広がる「笑顔の輪」を日比谷花壇は共に作りたくと考えています。



◆ **【寄付付き商品】そのまま飾れるブーケ「フレフレフラワー」**

いつも頑張っているあの人に「フレフレ」とエールを届ける応援ブーケ。優しい色合いのレインボーマムと桜をイメージしたラッピングのそのまま飾れるブーケは、花瓶に入れる手間要らずで、見る人をそっと癒してくれる花束です。頑張っている大切な方に、これから頑張ろうとしている方にぜひどうぞ。

価格: 5,500円(税込・送料別)
花材: 生花(レインボーマム、スプレーバラ、小花)
サイズ: 縦 約23cm、横 約20cm、奥行 約20cm



◆ **【寄付付き商品】アーティフィシャルフラワー「ゴールデンクラウン」**

いつも頑張っているあの人に“勝利”の意味を持つ「オリーブ」でエールを届ける応援リース。オリーブには勝利の意味の他にも“幸福”や“平和”の意味もあり、スポーツ界では優勝した方に贈る花冠として使われています。頑張っている大切な方に、これから頑張ろうとしている方にぜひどうぞ。

価格: 5,500円(税込・送料別)
花材: アーティフィシャルフラワー(オリーブガーランド、ラベンダー、小花)
サイズ: 縦 約25cm、横 約25cm、奥行 約10cm

【受注開始】7月14日(水)

【お届け期間】8月1日(日)～9月30日(木) *数量限定のため、売り切れ次第終了となります。

株式会社日比谷花壇について <https://www.hibiya.co.jp/>

1872年創業、1950年に東京・日比谷公園店の出店後、株式会社日比谷花壇を設立。現在、全国に約190店舗を展開。ウエディング装花、直営店舗及びオンラインショップでの個人法人向けフラワーギフトの企画・制作・販売、お葬式サービス、各種空間装飾デザイン・ディスプレイ、屋内緑化の設計・施工等を行っています。今後も、さまざまな日常の生活のシーンの中に、花とみどりのある生活文化を創造していきます。

別紙

《Twitter キャンペーン詳細》

日比谷花壇公式 Twitter アカウント(@hibiyakadan)をフォローして、キャンペーンツイートをリツイートするだけで、抽選で 10 名様に、そのまま飾れるブーケ「フレフレフラワー」をプレゼントします。

【期間】7 月 14 日(水)～19 日(月)

■ピースウィンズ・ジャパンについて

国内外で自然災害、あるいは紛争や貧困など人為的な要因による人道危機や生活の危機にさらされた人びとを支援する日本発の NGO で、大西健丞により 1996 年に設立されました。これまでに世界 34 カ国で活動してきました。また、緊急災害支援プロジェクト「空飛ぶ捜索医療団」の運営や地域活性化、犬や猫の殺処分ゼロを目指した動物の保護・譲渡活動など、社会課題の最前線で解決に全力を尽くすソーシャルプラットフォームとして挑戦を続けています。

以上